

研究機関（大学等）アンケート調査票（案）

九州圏の小規模・高齢化集落に関わる研究・調査・

支援実態を把握するためのアンケート調査

今日の九州圏では、急速な人口減少・少子高齢化の進展を始めとした社会情勢の変化により、地方の都市、離島、半島、中山間地域における生活活動の維持に対する懸念が広がっています。

このような中、九州地方整備局では平成19年度より、“集落住民が安心して元気が出る暮らしの実現”に向けた支援策のあり方を検討してまいりました。

平成19年度には、九州内の全市町村を対象に、九州圏の小規模・高齢化集落における農林地の荒廃や集落活動の停滞・脆弱化等、集落の厳しい実態と、集落の持つ豊かな資源を活用した「都市と農村」の交流や、「伝統文化」の保全に向けた取り組み等の実態について調査しました。

平成20年度からは、集落の人々の暮らし、生活をいかに維持していくかに焦点をあてながら、集落に元気を呼び戻すため、集落の人達の力と外部支援者の力を合わせた取組（集落元気づくり）を考案するため、4つの集落において「寄合い」を開催し、小規模・高齢化集落の存続・維持の問題解決に取り組んでおります。

その中で、とりわけ小規模・高齢化した集落の維持のためには、外部支援者（周辺集落、他出者、地元自治体等）の直接的支援が有効であるほか、九州圏の集落課題の解決に向けた総合的な知見を有する専門家による外部支援者への間接的な支援も重要であるとの認識を得るに至りました。

本アンケートは九州圏の今後の集落支援を検討するにあたっての有識者の皆様の集落を対象とした研究実態及び今後の集落支援への取組について把握するとともに、我が国の集落支援施策における課題等について御意見をいただくことを目的としております。

つきましては、お忙しい中、誠に恐れ入りますが、本アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。なお、本調査結果は今後の九州圏における集落支援のあり方を検討するための基礎資料とさせていただきます。

※調査結果の詳細は、国土交通省九州地方整備局のホームページから閲覧出来ます。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/chiiki/koiki/index.html>

(1) アンケート回答期日：平成21年12月25日（金）

（取りまとめの都合上、極力早めのご返送にご協力ください。）

(2) 返送方法：同封の返信用封筒にてご返送下さい。

返送先：国土交通省九州地方整備局企画部広域計画課

問い合わせ先

■調査委託会社

日本工営株式会社福岡支店

TEL：092-475-7569

FAX：092-475-4330

E-mail: a5566@n-koei.co.jp

担当：白石、^{ついで}對田

■発注元

国土交通省九州地方整備局

企画部広域計画課

TEL：092-476-3543

FAX：092-476-3466

E-mail：

担当：寺岡、松尾

質問1 お名前と所属組織についてご確認ください（誤りがある場合、あるいは回答者が異なる場合、お名前、組織、職位を横にお書き下さい。）

- ① お名前：
- ② 所属組織：
- ③ 職 位：

質問2 小規模・高齢化集落（集落の人口・世帯の減少や高齢化が進み、集落維持のための共同作業が困難になった集落）に関連する、あなたの調査・研究内容についてお答えください

- ① 人文学に関する調査・研究を行っている
- ② 社会科学に関する調査・研究を行っている
- ③ 工学に関する調査・研究を行っている
- ④ 生物学に関する調査・研究を行っている
- ⑤ 農学に関する調査・研究を行っている
- ⑥ 医歯薬学に関する調査・研究を行っている
- ⑦ その他：具体的にご記入ください
(.....)
- ⑧ そのような調査・研究を行っていない

質問3 質問2で①～⑦とお答え頂いた先生にお尋ねします。
小規模・高齢化集落の存続・維持や活性化に向けた具体的な活動を実施されている場合、その内容をお答えください

- ① 集落の存続・維持・活性化に向けた学内機関を立ち上げている
名 称：
- 活動内容：
- U R L：
- ② 集落の存続・維持・活性化に向けた研究・支援組織を立ち上げている
名 称：
- 研究グループ：
- 活動内容：
- U R L：

- ③ 個人的（あるいは研究室において）に集落の存続・維持・活性化に向けた活動を実施している

活動内容 :

U R L :

質問3 質問2で①～⑦とお答え頂いた先生にお尋ねします。
小規模・高齢化集落の存続・維持や活性化に関する代表的な論文や研究発表のタイトルと掲載先お答えください。

① 名 称 :

掲載先 :

URL :

② 名 称 :

掲載先 :

URL :

③ 名 称 :

掲載先 :

URL :

質問4 質問2で①～⑦とお答え頂いた先生にお尋ねします。
小規模・高齢化集落の存続・維持や活性化に関する調査・研究内容の
対象地が九州内であれば、対象地をお答えください。
差し支え無ければ小字（あるいは集落名）までお答えください

① 対象地 :

② 対象地 :

③ 対象地 :

④ 対象地 :

⑤ 対象地 :

質問5 質問2で①～⑦とお答え頂いた先生にお尋ねします。
小規模・高齢化集落の調査・研究を通して認識されている課題についてお聞きします。該当するものに○をつけて下さい。

- ① 集落の実態を把握するための統計等情報が不足している
- ② 集落課題を解決するための集落に対する支援方法や支援事業が不足している
- ③ 集落支援を行う人材・組織が不足している
- ④ 集落支援を行うための知見・ノウハウが一般的に知られていない。
- ⑤ 集落の小規模化・高齢化に伴い、集落における自立的な取組が困難になっている
- ⑥ 不足しているものはない
- ⑦ その他認識されている課題があれば記入して下さい

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

質問6 九州圏において、小規模・高齢化集落に対する集落支援を実施していく上で、必要なことはどのようなことであるとお考えですか。該当するものに○をつけて下さい。また①～⑤以外で必要であると思われる支援策がありましたらお書き下さい。

- ① 九州圏内の集落の実態（懸念される集落の人口・世帯・高齢化率等の基礎情報）を定期的に把握すること
- ② 集落課題を解決するための集落に対する支援事業の拡充
- ③ 九州圏の集落支援を担う人材の育成、組織の設立
- ④ 集落支援を行っている先行事例等を取りまとめた先行事例集の作成及びインターネットや紙媒体による関係者への提供
- ⑤ 集落と集落外支援者の話し合いの場の提供
- ⑥ 必要なものはない
- ⑦ その他必要である支援策がありましたらお書き下さい

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問7 今までの検討の中で、小規模・高齢化集落の存続・維持や活性化に関し、有識者の調査への参画、助言等の支援が必要であると考えております。集落支援を行うにあたっての協力可能性について該当するものに○をして下さい

- ① 集落を対象とした存続・維持や活性化に関わる調査に参画可能である。(旅費は別途支給の場合)
- ② 集落を対象とした存続・維持や活性化に関わる調査に参画可能である。(調査対象地が自身の研究テーマ・対象地と合致した場合)
- ③ 集落を対象とした存続・維持や活性化に関わる調査に助言を行うことが可能である
- ④ 集落を対象とした存続・維持や活性化に関わる調査に関心があり情報交流を希望する
- ⑤ 本テーマに関心があるため、情報提供を希望する
- ⑥ 参画・助言することは困難である
- ⑦ その他 ()

質問8 九州圏の集落を対象とした集落存続・維持に向けたご意見・ご要望等ありましたらお書き下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。